

男女共同参画基本計画に関する施策の評価等について

(分野名) (12) 新たな取組を必要とする分野における男女共同参画の推進

(施策名) (1) 科学技術

1 主な施策の取組状況及び評価

文部科学省では、新たな取組を必要とする科学技術分野における男女共同参画を推進するため、基本計画の具体的施策の要請に対し以下の取組を実施している。

○科学技術分野における女性の参画の拡大

- 各都道府県・政令都市教育委員会及び国公立大学に対し政策・方針決定過程への女性の参画の拡大に関する協力を要請する内閣府の特命担当大臣名の文書等を送付し、女性参画のための取組を一層推進するよう依頼。(平成18年9月)

○女性研究者の採用・登用、機会の確保、勤務環境の整備等

- 女性研究者が研究と出産・育児等を両立し、研究活動を継続するための支援を行う仕組みを構築するモデルとなる優れた取組を支援する「女性研究者支援モデル育成(科学技術振興調整費)」を実施。(平成18年度～)

総合科学技術会議による中間評価において「女性研究者への支援モデルとして様々な支援手法が実践されており、また理系学部への女性志願者が増加しているなどの波及効果も見られ、一定の成果をあげつつあると判断できる」と評価され、男女共同参画の観点から本計画の要請を満たしている。

(採択実績)

平成18年度	10大学
平成19年度	10大学・独法
平成20年度	13大学
平成21年度	12大学・独法

- 多様な人材の養成・確保及び男女共同参画の推進の観点から、特に女性研究者の採用割合等が低い分野である、理学系、工学系、農学系の研究を行う優れた女性研究者の養成を加速する女性研究者養成システム改革加速(科学技術振興調整費)を実施。(平成21年度～)

(採択実績)

平成21年度	5大学
--------	-----

- 戦略的創造研究推進事業においては、同事業に参画する研究者が出産・育児・介護等のライフイベントを行う際に、男女共同参画促進費を、当該研究者の所属する研究チームに支給。(平成20年度～)

○女性若年層の理工系分野の選択の促進

- 科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生等と女子中高生の交流機会の提供や実験教室、出前授業の実施等、女子中高生の理系進路選択を支援する「女子中高生の理系進路選択支援事業」を実施。(平成18年度～)

平成20年度に実施したアンケートでは、「女子中高生の理系進路選択支援事業」に参加する前に、進路について理系か文系か迷っていた人のうち、理系への進路に前向きになった人の割合は25.5%であり、「女子高校生等女性若年層の理工系への関心・理解を高める」とする本計画の要請を満たしている。

様式 2

(採択実績)

平成18年度 12 大学・法人
平成19年度 9 大学・高専・法人
平成20年度 11 大学・高専・法人
平成21年度 13 大学・高専・法人

- ・ 独立行政法人国立女性教育会館「女性のキャリア形成支援サイト」において、研究者・技術者、NPOリーダーなど多様な女性のロールモデル事例等を提供。(平成17年度～)

2 今後の方向性、検討課題等

- ・ 女性研究者支援モデル育成（科学技術振興調整費）
「平成21年度の科学技術振興調整費の配分の基本的考え方」（総合科学技術会議）における以下の指摘を踏まえ、施策を推進する。
 - 女性研究者のニーズにあった支援策の実施とそのための組織全体の改革が実施されるよう、ベストプラクティスや成功例・失敗例を共有するための実施機関間の情報交換を推進する。
 - 文部科学省は実施課題の中間評価に基づく詳細な分析を実施し、女性研究者支援方策としてより効果がある取組に重点化するなど、更なる取組の推進を図る。
- ・ 女子中高生の理系進路選択支援事業
平成21年度より独立行政法人科学技術振興機構に事業を移管し、児童生徒の科学技術に関する興味・関心を高めるための取組の支援の一環として、科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生等と女子中高生の交流機会の提供等、女子中高生の理系進路選択の支援を行う。

3 参考データ、関連政策評価等

- ・ 研究者に占める女性の割合
平成18年度 11.9%
平成19年度 12.4%
平成20年度 13.0% (出典：科学技術研究調査報告（総務省統計局）)